

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、愛媛大学白菊会に献体登録いただいた御遺体を用いて、人体構造の詳細な解剖を行います。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、御遺体を利用することをご了解いただけない方、ご家族は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

解剖遺体(cadaver)を用いた十二指腸周囲膜解剖の解析

【研究機関】 愛媛大学医学部 消化管腫瘍外科学

【研究責任者】 大木悠輔（消化管腫瘍外科 助教）

【研究の目的】

近年、消化器外科領域では低侵襲手術を目的とした腹腔鏡手術が普及しています。工学の発展とともに、手術に用いる画質も非常に繊細となり、今まで認識できなかった微小解剖が認識できるようになってきています。十二指腸周囲は複雑な構造をしていますが、今までにほとんど詳細な研究をされたことがありませんでした。そのため、今回、御遺体から臓器を摘出して詳細に観察を行い、研究を行います。

【研究の方法】

対象は愛媛大学医学部白菊会に献体いただいた方です。対象となる臓器および周囲の構造物を一塊として摘出する必要があるため、腹腔内の観察を詳細に行うことを想定していないコメディカルを対象とした解剖実習に用いられた解剖遺体から腹腔内解剖前に対象臓器および周囲膜構造を摘出します。摘出した標本は薄く切った後に、固定し染色を行ったあとに観察を行います。

【個人情報の取り扱い】

献体遺体の情報は死因、年齢、性別のみが知らされているため、遺体個人の特長はできません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部消化管腫瘍外科 大木悠輔

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 消化管腫瘍外科 大木悠輔

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5975